2026
11 月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 267 号-①【基準日 2026 年 10 月 30 日】

社長メッセージ



AI 時代のリスクマネジメント

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長　長谷　俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。11月になり今年も残り2ヶ月を切りましたが、いかがお過ごしでしょうか。11月3日には米国で中間選挙が行われてトランプ大統領率いる共和党が大敗し、民主党が上下両院で過半数を確保して圧勝しました。トランプ政権が始めたイラン戦争への批判や原油高などの物価上昇に不満を持つ国民が反トランプ票として民主党に流れたことが敗因の一つであると言われています。



中間選挙の結果を受けて、マーケットは大きく反応し乱高下して、AI・半導体関連株を中心に世界の株式市場は大きく調整しました。民主党が勝利したいくつかの州でAIデータセンター建設に対する規制が強化される懸念が高まったことなどがきっかけでしたが、AI・半導体関連株については数か月前から期待と懸念が交錯する不安定な相場展開が続いていました。どこかでAI投資ブームが調整する可能性があると言われてきましたので、調整自体は想定外ではありません。今回の調整では期待感からこれまで大きく株価が上昇していた銘柄ほど大きく下落しています。短期的には不安定なボラティリティの高い相場が続くと考えられますが、中長期的には企業のファンダメンタルズに沿った企業価値に株価は収れんしていくと考えますので、こういう局面では相場変動に一喜一憂せずに資産運用の目的を再確認して、中長期的な時間軸で考えて資産運用を継続していくことが大切です。

さて、先月の世界のマーケットですが、世界の株式市場はAI・半導体関連株を中心に値動きが大きくなる相場の中、国・地域によって異なる相場展開となりました。欧州株は上昇し、米国株はNYダウが上昇する一方、AI・半導体関連株が下落した影響でS&P500やナスダックは下落しました。また、半導体関連株の割合が高い韓国や台湾などの新興国株や日経平均株価は大きく下落した1ヶ月となりました。上旬は米ハイテク株高や企業の好決算発表を受けてAI・半導体関連株を中心に上昇しましたが、中旬以降は、一転してAI・半導体関連の過剰投資懸念や収益化への懸念などから大きく下落しました。米国株はNYダウが+1.7%の上昇となりましたが、S&P500は-0.9%の下落、ナスダックは-5.3%の下落となりました。日本株は日経平均株価が-5.19%の下落で、TOPIXは-3.5%の下落となりました。また、為替相場については、ドル円レートはほぼ横ばいの1ドル157円台、ユーロ円は1ユーロ178円台から176円台へやや円高に振れて月末を迎えました。

そのような中でありがとうファンドは月間で-1.7%の下落となりました。主に新興国株ファンドが大きく下落したことがマイナス要因となりました。

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今後の見通しですが、米国中間選挙の結果を受けて、AI・半導体関連株ブームがしばらく調整する可能性が高まっており、トランプ大統領が外交や安全保障面でのレガシー作りのために、積極的な姿勢を見せる可能性が少なくありません。対中国・ロシア外交や泥沼化するイラン戦争と中東問題、対キューバ問題など地政学リスクが高まっていく懸念があります。日本に対しても米国の国益を重視した政策の受け入れを求めてさらなる圧力をかけてくる可能性も少なくないでしょう。また、ロシア・ウクライナ戦争の長期化と拡大懸念によるエネルギー危機によってインフレが今後も継続していく可能性も少なくありません。AIに関しては、株式市場が調整したとしても、AI自体の進化は今後も続いて様々な分野に広く普及していくことになると思われます。そのような中、株式市場は引き続き上下にボラティリティの高い相場展開が継続していくと思われます。



AI時代のリスクマネジメント

先月あたりから世界的に不正アクセスや情報漏洩が多発しており、日本でも毎日のように不正アクセスによる情報漏洩のニュースが報道されています。数十万件、数百万件、数千万件とその件数と対象、影響規模が大きすぎて、自分の個人情報は大丈夫なのか、どこかから漏れていないのか、もはや把握できないくらいに対象が広がっています。また、10月下旬に発生したPHP脆弱性対応によるWEBサイト一時停止緊急メンテナンスについては、インターネットに依存している現代社会の脆さを浮き彫りにした象徴的な出来事でした。未だにWEBサイトを再開できずにいる企業もあるようです。これらの不正アクセスや情報漏洩、システムやソフトウェアの脆弱性の問題はAIの進化と繋がっており、以前なら発見できなかった脆弱性やセキュリティホールをAIが短時間で見つけて攻撃することが可能になったことにより発生した問題です。さらにAIが生活インフラへのサイバー攻撃にも利用されはじめており、欧米では給水システムがサイバー攻撃を受けたり、スーパーの冷蔵庫・冷凍庫がサイバー攻撃を受けて温度が上昇して食品を廃棄せざるを得ない事態に陥ってしまうなど、生活への深刻な影響も出ています。

AIによって私たちの生活や暮らしは劇的に効率化されて便利になり、あらゆる問題や課題が解決されるバラ色の未来を夢見て巨額の資金が投資されて開発されてきました。しかし、AIの進化が加速してきたことが、皮肉にも私たち人類にとって致命的な新たなリスクも招いてしまいました。

政府も企業も個人もコスパやタイパ、効率や便利さの追求からデジタル化やオンライン化、WEB化、クラウド化、キャッシュレス化などを進めてきた結果、サービスや業務のネットへの依存度を高めることで、セキュリティリスクを集中させてきてしまいました。これまでは何でもデジタル化・WEB化することが効率性を重視すれば正解でしたが、今後は面倒でコストはかかるけれども手書きや紙などの昔ながらのアナログ対応やオフラインの対面対応や電話での有人対応をすることの意義がリスクマネジメントの観点から見直されてくるのではないかと思います。

AIはこれからも進化を続けていくでしょう。だからこそ、AI時代のリスクマネジメントとして、私たちはメリットだけでなく、デメリットやリスクをしっかり認識した上で、一つに集中しすぎないようにうまくバランスをとりながら、AIにできることとできないこと、人間にしかできないことを考えて上手に付き合っていく必要があるのではないでしょうか。

今後もありがとうファンドでは、お客さまから託されたご資金を長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を享受できるように国際分散投資をするとともに、地政学リスクやインフレリスクなどに備えて金（ゴールド）にも分散投資することで安定した運用成果の提供を目指して運用を行って参りますので、引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです。

「定期積立サービス」とは
・・・毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』
お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンのチャンスとなります。

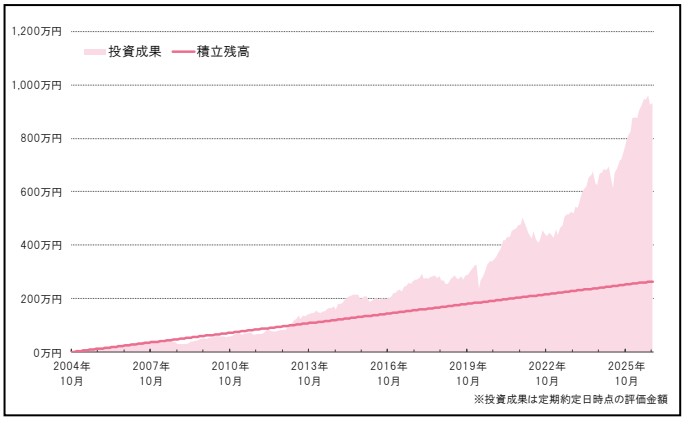
②『リスクを分散』
定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』
タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	48,153円	+2.3%
3年	39,125円	+25.9%
5年	32,797円	+50.2%
10年	24,191円	+103.6%
初回(2004年10月)から	14,141円	+248.3%



投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、**時間での分散が効果的**です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。
それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価が平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	**12万2744円**
3年	36万円	**45万3200円**
5年	60万円	**90万1066円**
10年	120万円	**244万3231円**
初回(2004年10月)から	265万円	**923万48円**

2026年10月30日現在(基準価額:49,254円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 304 号　一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今月の FP 情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。



月々の負担を抑えて都心マンションが買える！

「期日一括返済併用型住宅ローン」とは

近年、都心部を中心としたマンション価格の高騰や金利の上昇に伴い、住宅ローンの返済が家計を大きく圧迫するケースが目立っています。返済期間を最長 50 年に延ばす「超長期ローン」も登場しましたが、完済時の年齢制限があるため、利用できるのは一部の若年層に限られているのが現状です。

一方で、ライフステージの変化に応じて家を売却し、柔軟に住みかえる「資産」として住宅を捉える価値観も広がっています。こうした背景から毎月の返済負担を抑えつつ、多様な住みかえニーズに対応する新しい仕組みとして、「残価設定型」や「期日一括返済併用型」などの新しい住宅ローンが開発されました。返済負担を軽減できる反面、利用にあたっては通常のローンとは異なる特有のリスクや注意点があります。今回は、「期日一括返済併用型」について解説します。

まずは、金利上昇がもたらす基本的な影響

■ 返済額の増加

金利が高くなると利息の割合が増え、同じ借入額でも毎月の支払いやトータルの負担が重くなります。例えば、下表のケースでは、金利 0.5%の上昇で、総支払額は約 518 万円も増加します。わずかな金利差が将来の家計にどれほど大きな負担を与えるか、この試算からも明らかです。

【借入額：5,000 万円　返済期間：35 年　元利均等返済（ボーナス払いなし）※諸費用は含みません】

	金利	月々返済額	年間支払額	総支払額
現状水準	1.33%	148,962 円	1,787,544 円	62,564,120 円
+0.5%上昇想定	1.83%	161,302 円	1,935,624 円	67,746,849 円
差異	**0.5%**	**12,340 円**	**148,080 円**	**5,182,729 円**

■ 借入可能額の低下

審査時の返済負担率が変わらないため、金利が上昇すると個人が借りられる最大融資枠は縮小します。

■ 固定金利への直撃

すでに全期間固定金利で契約中の場合は、完済まで適用金利が変わらないため、市場金利や日銀の利上げによる影響は受けません。固定期間選択型（10 年固定など）の場合、固定されている期間中は、金利や返済額に影響はありませんが、固定期間が終了するタイミングで、その時点の金利水準（変動金利または新たな固定金利）で再選択が必要となり、その時点で返済額が上がる可能性があります。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

■ 変動金利のルール

住宅ローンの「5 年ルール」と「125%ルール」は、変動金利で元利均等返済(毎月の返済額が一定の方式)を選んだ際に、金利が急上昇しても毎月の支払額が急に増えないようにするための激変緩和措置です。

5 年ルールは、金利がどれだけ上がっても 5 年間は毎月の返済額を一定に据え置く仕組みです。そして 125%ルールは、6 年目に返済額を見直す際、新しい返済額をこれまでの 1.25 倍(125%)までを上限とする仕組みを指します。

これらのルールによって毎月の支払額は守られますが、金利が上がった分の利息が免除されるわけではありません。返済額に占める利息の割合が増えると元金が減りにくくなり、最悪の場合、元金が全く減らない「未払利息」が発生するリスクがあります。未払利息は最終期日などに一括精算する必要があるため、結果として総支払額が膨らみます。また、このルールを採用していない金融機関もあるので注意しましょう。

期日一括返済併用型住宅ローン(ハイブリッド型住宅ローン)とは

このローンの特徴は借入額全体を「期日一括返済型」と「通常返済型」の 2 つに分けて返済することです。借入元金の一部(通常は担保評価額の 50%程度)を最終回(期日)にまとめて一括返済し、残りの元金を毎月通常の返済(元利均等または元金均等)で返済します。

毎月の支払いは「分割返済分の元利金」と「一括返済分の利息のみ」で構成されるため、月々の負担が軽減されます。ただし、毎月の負担が軽い反面、最終回(期日)には据え置いた元金を必ず一括で支払わなければなりません。そのため、その時に数千万円規模のまとまったお金をどうやって用意するか(家を売る、自己資金を貯めるなど)を最初からしっかり計画しておくことが大切になります。



期日一括返済併用型住宅ローンの利用条件

対象者	次の条件をすべて満たす方 ● 借入時満 18 歳以上満 65 歳以下で、完済時満 80 歳未満の方 ● お借入れされる方の前年年収:1,000 万円以上 (ペアローンの場合は、どちらか一方の前年年収が 1,000 万円以上) ● 指定の団体信用生命保険に加入を認められる方 ● 国内在住の方			
対象物件	エリア: 東京都 23 区、神奈川県横浜市・川崎市、大阪府大阪市 物 件 : 1億円以上の新築・中古マンション 築年数: 完済時築年数 65 年以内			
融資条件	金額	500 万円以上3億円以下 (10 万円単位)	期間	最長 35 年
	金利タイプ	変動金利タイプまたは 固定金利特約タイプ	金利	金利上乗せ 0.35% (2026 年 9 月時点)

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

期日一括返済併用型住宅ローンのメリット

最大のメリットは、毎月の返済額を抑えつつ、将来のまとまった資金で効率的に完済を目指せる点です。月々の負担が軽減されることで家計にゆとりが生まれ、教育費や日々の生活費といった現在の支出に資金を回しやすくなります。この据置分の元金を一括返済する手段としては、将来の物件売却だけでなく、退職金の充当や月々の返済が減って浮いたお金を資産運用に回して返済原資を準備するといった多様な選択肢があります。また、必ずしも 35 年後まで待つ必要はなく、10 年後や 20 年後といった中短期のタイミングで売却し、一括返済して住み替えることも可能です。また、融資期間が最長 35 年のため、年齢制限で 50 年超長期ローンを組むことが難しい方でも利用できる仕組みになっています。

期日一括返済併用型住宅ローンのリスクとデメリット



退職金の減額や物件の価値下落によって一括返済分の資金が不足する可能性があるというリスクがあります。購入時に資産価値の維持が見込めるエリアや物件を選んだとしても、将来にわたってその価値が保証されるわけではありません。例えば、5,000 万円の一括返済が必要な時期にマンションが 4,000 万円でしか売れなかった場合、差額の 1,000 万円を自己資金から持ち出さなければならなくなります。万が一返済が滞れば、最悪の場合、高齢期に多額の債務を抱えたまま住まいを手放すことになりかねません。

また、毎月の返済額を低く抑えられる一方で、総支払額が通常よりもかなり大きくなってしまうというデメリットがあります。元金の一部の返済を満了期日に先送りするため、借入期間中の元金の減り方が非常に遅くなります。先送りにした元金に対しても融資期間中利息が発生し続けるため、最終的な総利息額が膨らみます。

残価設定型と期日一括返済併用型との違い

最大の違いは、将来の物件価格（残価）が保証されるかどうかです。残価設定型は一定期間が経過したあとに一般社団法人移住・住みかえ支援機構（JTI）などが、設定された残価で住宅を買い取る仕組みになっており、将来の資産価値をある程度保証するセーフティネットが存在します。一方、期日一括返済併用型住宅ローンにはそのような将来価値の保証がなく、将来、マンションの市場価値が下がってしまっても、据え置いた元金の一部は全額借主が自力で返済しなければならず、価格下落リスクや精算の負担はすべて購入者側が負うことになります。

「残価設定型」についてはこちら【「家も残クレ」の時代？『残価設定型住宅ローン』について（2026 年 3 月）】
https://www.39asset.co.jp/blog/2026/03/002281.html

市場環境の厳しさが伴う現代において、期日一括返済併用型住宅ローンは月々の負担を軽減する現実的な手段となり得ますが、それは将来への「リスクの先送り」という側面をあわせ持っている点に注意が必要です。

目先の支払額に惑わされることなく、自身のライフプランを見据えて将来の一括返済資金を確実に準備できるよう、余裕を持った長期的な返済計画を立てることが重要になります。



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうの本棚



弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。

～今月の一冊～

じつはお金の本質が学べる落語の話
- 2025/10/14　田中靖浩、立川晴の輔　著



落語にはまった公認会計士の田中靖浩さんが、落語家の立川晴の輔さんと「会計士×落語家」の異業種コラボをして発売された本をご紹介します。
お二人は 2008 年からさまざまなセミナーや企業研修などでビジネスマンにとっての「落語の魅力」を発信してきました。

人情よりもコスト削減、思いやりよりもコンプライアンス。重要なのはタイパとコスパ。近年は欧米流の効率重視がビジネスの主流となっています。
「金儲けはうまいけど、感じが悪い人」が大量増殖している現代で　、日本流の「お金儲けと感じの良さの両立」を落語から学びませんかというのが本書のテーマです。

落語にはお金にまつわる噺がたくさんあります。一般的にお金の話というと「どうやったらお金を稼げるか」という自己啓発系がほとんどですが、落語では成功する噺は多くありません。
お金が稼げなくても日々を面白おかしく生きる価値観を落語が教えてくれると著者は述べています。

本書では有名な古典落語のあらすじを解説しながら、そこからどのようなお金の知識が学べるのかが紹介されています。
気になる方はぜひ読んでみてください。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 （ファンドの購入日）
2026年 11月分	10月5日（月）	10月26日（月）	11月6日（金）	11月16日（月）	11月18日（水）
2026年 12月分	11月5日（木）	11月25日（水）	12月7日（月）	12月15日（火）	12月17日（木）
2027年 1月分	12月3日（木）	12月23日（水）	1月6日（水）	1月15日（金）	1月19日（火）
2027年 2月分	1月5日（火）	1月27日（水）	2月8日（月）	2月17日（水）	2月19日（金）

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

11月26日（木）	感謝祭	ニューヨーク	12月25日（金）	クリスマス	ニューヨーク・ルクセンブルグ・ロンドン・アイルランド
12月28日（月）	ボクシング・デー（振替）／聖ステファノの日（振替）	ロンドン／アイルランド	12月29日（火）	銀行休業日	アイルランド

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)以内の率を乗じて得た額とします。 ［実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.30%±0.15%(概算)］ ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧下さい。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社　カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9　フリーコール　0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：　騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。
※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。
【日本株】→FactSet Market Indices Japan　配当込み(税引き前配当再投資)
【世界株】→FactSet Market Indices World　配当込み(税引き前配当再投資)
【米国株】→FactSet Market Indices United States　配当込み(税引き前配当再投資)
【欧州株】→FactSet Market Indices Europe　配当込み(税引き前配当再投資)
【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging　配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について
R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付付為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。